

小川 不朽 議員 … 2 件の一般質問

「子ども・子育て支援新制度」の住民説明会を



町長：開催する予定で準備を進めている。説明し、意見・質問を受けたい。

**小川** 私立3幼稚園は来年4月から順次

「認定こども園」へ移行し、公立保育所は再来年4月に統合保育所として開所できるよう準備を進めている。

新制度における「支援計画」の周知と、新制度における「3認定こども園」・「新保育所」の体系や具体、さらには「地域子ども・子育て支援」事業などについて、「住民説明会」を早急に実施すべきと考えるが見解を伺う。

**町長** 私立3幼稚園は認定こども園へと順次移行し、本町の保育所と子育て支援センターは統合し、新しい保育所として生まれ変わる。

1号認定の施設型給付を受けるに当たり幼稚園には、昨年10月に本町職員を派遣して保護者説明会を開催し、子ども・子育て新制度移行について説明し、あわせて保護者からの質問にも答えた。

統合保育所と幼保再編に関する保護者説明会を6月末、または7月第2

週のいずれかに開催する予定で準備を進めている。

町長と事務局、私立3幼稚園の園長にも参加してもらい、保育所建設計画に至った経緯、施設利用の流れ、新しい保育所の概要等を説明し、意見・質問を受けたいと考えている。

また、地域子ども・子育て支援事業について、本町では現在4事業の実施となっている。1つに「妊婦健康診査」、2つに「乳児家庭全戸訪問事業」、3つに「養育支援訪問事業」、4つに「放課後児童クラブ」となっている。幼稚園では、「一時預かり」の1事業となっている。

この説明会への状況については、広報紙の特集になるかどうか、周知するとともに、ホームページで説明会資料等をPDF化し、質問があった内容についても開示し、わかりやすく発信していきたい。

築50年の役場庁舎

**小川** 1966(昭和41)年8月7日、

町制50周年と新しい役場庁舎の落成式が行われた。築50年を迎える現役場庁舎の老朽化について伺う。

①役場庁舎には、防災拠点機能のより一層の強化が求められている。耐震補強の課題も頓挫されているが、

②現役場庁舎の耐久・耐用年数を何年と定めているか。

③今後の補修費や維持費はますます増大することが予想されるが、

④役場庁舎建設構想策定庁内検討委員会(仮称)を組織し、基金の積み立てを検討するなど、実効ある計画を進めていくべきと考えるが。

**町長** ①以前まで点在していた防災資機材を現在、旧東陵中に集約している。旧東陵中にご

こまでの機能を持たせるのか検討を進めていく

役場庁舎の耐震補強の課題については、平成24



築50年の俱知安町役場

年9月の耐震調査結果は、耐震性に疑問という報告

内容で、補強・改修等工事費6億690万円と試算された。耐震補強を実施した場合、補強鉄骨などが組み込まれ、さらに狭隘(きょうあい)になることが想定される。耐震補強工事の実施に踏み切れず、現在に至っている。

②鉄筋コンクリートづくりの建築物の耐用年数は60年と言われている。

③本年度、役場庁舎の修繕工事として約1400万円の予算計上をしている。今後も屋上及び外壁に年数の経過とともに傷

みが懸念される。

④熊本地震では、行政推進の中核である役場庁舎を失った自治体まで発生し、復旧活動をはじめ事務事業の推進に大きな痛手を生じたことと推察している。

このような状況を踏まえ、本町としても今後も安定した行政サービスの提供を維持していくため、役場庁舎建設に係る庁内検討委員会を立ち上げていきたいと考えている。

あわせて財源確保、基金の積み立て等についても今の段階から検討をすべきと考えている。